



## 幻想的なホタルの光

# 「ホタルの夕べ」 in 生物園

令和5年5月2日 送付枚数：1枚

### ！ここがポイント！

#### ■ドームに放ったホタルを観賞

毎日500匹のホタルを放して、昆虫ドーム内の観察路をホタルが飛び交う姿を展示します。参加者は通路内を歩きながらホタルの幻想的な光を観賞できます。

#### ■展示するのはゲンジボタル

日本には40種類以上のホタルが生息していると言われており、ゲンジボタルは其中で体も大きく光も強い種として知られています。また、光るタイミングを合わせる習性があり、同時に光る様子は圧巻です。

#### ■ホタル観賞は人気イベント

「ホタルの夕べ」は、生物園の初夏の人気イベント。平成30年に屋外観賞会として11年ぶりに復活を遂げました。過去の様子や飼育の様子を動画で視聴可能です。



#### ◆観察ポイント「光のコミュニケーション」

ゲンジボタルは、日没から活発に活動し、光の信号でコミュニケーションをとります。オスはメスより体が小さいのですが、発光器を2つ持ち、光りながら飛ぶことでメスにアピールをしています。一方メスの発光器は1つで、草などにとまって光り、自分の居場所を知らせています。オスとメスの光り方の違いにも注目して観察してみてください。

ぜひ、取材・報道をお願いします。

### 「ホタルの夕べ」 in 生物園 概要

- 場所：足立区生物園（〒121-0064 足立区保木間 2-17-1）
- 日時：6月1日（木）～4日（日） 午後7時30分/8時/8時30分の3回実施
- 定員：各回300名 ※小学生以下は保護者の参加が必要
- 費用：500円 ※就学前の子どもは無料
- 申込：①Web申込み ②はがき申込み（5/17必着）※詳しくは生物園HPへ



#### ■ゲンジボタル

日本に生息するホタルの中では大型。成虫になるとオスは1.5cm、メスは2cmくらいになる。5月～6月ごろ、山間の小川などでみることができる。赤い部分に黒い十字のような模様があるのが特徴。寿命は1週間くらいとはかない命です。



#### ■ 本件に関する問い合わせ先

足立区生物園 園長：関根 広報：荒牧・大川 ☎03-3884-5577

#### ■ 発信者

政策経営部 報道広報課 報道担当 谷内 ☎03-3880-5816 ☎070-5598-7874